

一 般 質 問 総 括 表

(令和6年3月議会定例会)

No.1

氏名	番号	質問事項	質問内容	備考
大場洋介	1	効果的な予防接種の充実について	① 帯状疱疹ワクチンの重要性への認識は。 ② 肺炎球菌ワクチン接種率向上策は。	
	2	持続可能な地域資源の活用について	① 森林環境譲与税の今後の活用法は。	
須藤典夫	1	生活排水処理基本計画について	<p>町の一般廃棄物処理基本計画の生活排水処理基本計画では公共下水、農業集落排水、合併浄化槽の対応で事業推進をしている。</p> <p>近年家族数の減少を背景に「子供も出て行って2人になったが、合併浄化槽の経費は安くならなくて困っている。」という声がある。</p> <p>調べてみたところ、</p> <p>○公共下水使用家庭、70代 2人暮らし 年間料金 <u>33,286円</u></p> <p>○合併浄化槽使用家庭 5人槽 2人暮らし 保守点検料 4,950円×3回 14,850円 法定検査料 5,500円×1回 5,500円 清掃料(汲み取り) 41,800円 ブローア電気代 5,000円 年間料金 <u>67,150円</u></p> <p>合併浄化槽の維持経費は固定化であり公共下水より経費が割高になっている。</p> <p>今後も適性に維持管理していただくためには何らかの支援が必要ではと思える。「合併浄化槽維持管理補助金」を交付している自治体もあるが、当町でも考えてはどうか。</p>	
	2	(仮称)「石碑公園」の整備計画はどうか。	<p>有屋稲沢地区出身の元参議院議員で、戦後、農地解放と自作農確立の推進に尽力された小林亦治先生の胸像が魚清水の糠塚にある。</p> <p>この胸像について、(仮称)「石碑公園」に移設を検討したいとの答弁をいただいているが、進んでいるのか。</p>	

一 般 質 問 総 括 表

(令和6年3月議会定例会)

No.2

氏名	番号	質問事項	質問内容	備考
中村忠行	1	農地保全策は	<p>① 令和5年4月施行の「改正農業経営基盤強化促進法」によって、これまで取り組んできた「人・農地プラン」が法定化され「地域計画」に変わったことを受けて町でアンケートを行ったが、結果と農地保全に向けた考え方は。</p> <p>② 農地保全は農業振興のほかの多面的機能があるとされているが農地保全の効果をどのように考え対策を行っていくのか。</p>	
宮林聡志	1	防災対策について	<p>① 1月1日に発生した能登半島地震は多くの命を奪い、甚大な被害をもたらした。改めて震災の恐ろしさと備えの重要性を認識した。町民の生命・財産を守るため東日本大震災後、防災計画の見直しを行ったが、今回の震災を受け、教訓にすべきこと、担当部署で対応していかなければならないと感じたことについて各課長に伺う。</p> <p>② 優秀な人材確保の観点や、諸事情により町外から通勤されている職員もいる。今回の地震では道路に大きな被害が発生した。豪雨災害発生時は、道路への冠水、土砂崩れなどによる通行止めなども想定され、非常招集、発災直後の初動体制にも影響があると感じたところである。災害対応はマンパワーが不可欠であり、全職員が非常招集できない場合のフォロー体制について町長に伺う。</p> <p>③ 県では今回発生した地震、全国各地で頻発する大規模自然災害を受け、県民の防災意識を高めるため東日本大震災が発生した3月11日を「県民防災デー（防災点検の日）」に制定することとした。市町村、学校、関係機関と連携して啓発活動を展開していくとのことであるが、町として具体的にどのように対応していくのか。</p> <p>④ 災害対策本部となる役場庁舎の耐震補強工事は行っているが、非常電源の確保、行政情報設備など本部機能に課題はないか。</p>	

一 般 質 問 総 括 表

(令和6年3月議会定例会)

No.3

氏名	番号	質問事項	質問内容	備考
	2	少雪による影響について	<p>今冬は近年にない少雪となり、除雪の負担軽減や、町内で雪による事故の発生も聞いていないことから安心して暮らせる冬となった。一方で雪に関係する仕事に携わる方にとりましては厳しい状況になったものと思う。次の点について伺う。</p> <p>① 道路・公共施設の除雪費・除雪費支給事業の決算額は、平年と比較してどのように見込まれるのか。また、今年度から公共施設の除雪を業者委託とした。委託料の積算は実働時間であるとのことだが、契約額と支払見込額の差額はどうなっているか。支払額が少なくなった場合、待機等の補償をどのように考えているのか。</p> <p>② カムロススキー場は今年度から休日等の営業に変更した。雪不足のため年末年始など営業できない日もあったが、キャンプだけでなく県外、町外から来られた方が多いように感じた。スキー場を営業したことによるレストラン・ホテル・温泉への波及効果を町長はどのように捉えているのか。</p>	
矢口政一	1	景観・観光施策等について	<p>町長は9月定例議会において2期目の出馬表明をされ、4月の町長選挙に向けて「新たな一歩を、元気に・着実に」のスローガンを掲げたリーフレットも作成して、準備も順調に進み「住んで良し、訪ねて良しのまちづくり」については、多くの町民が注視、期待しているところだ。</p> <p>特に、景観は町が誇る宝、街並み景観100年運動の継続・発展とある。町長の景観に対する想いと、観光推進策等について考えを伺う。</p>	
	2	「グリーンバレー神室」運営の新たな方向性について	<p>① 「キャンプ場」や広場の指定管理の範囲と公募の現状は。</p> <p>② 「グリーンバレー神室振興公社」等のマネジメントの評価はどのように受け止め、4月からの更なる延長はあるのか。</p> <p>③ 「ホットハウスカムロ」の存続策は。</p>	

一 般 質 問 総 括 表

(令和6年3月議会定例会)

No.4

氏名	番号	質問事項	質問内容	備考
			<p>④ 町として「クロスカントリースキー」は町技と位置づけ、今冬も雪の少ない状況で、クロカンコースが整備されている。今後の小・中学校生の選手育成策について伺う。</p>	